

令和2年度 事業計画書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

学校法人 谷口学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 谷口学園（昭和46年11月29日法人設立）
 代表者 理事長 谷口 富美
 住 所 大阪市阿倍野区文の里3丁目15番28号
 電 話 06-6629-2323
 F A X 06-6622-3250

設置する学校

住 所 大阪市阿倍野区文の里3丁目15番28号
 名 称 幼保連携型認定こども園 文の里幼稚園

役 員

理 事 6名 監 事 2名
 評議員 13名
 理事会 2回開催 評議員会 2回開催
 職 員 22名

2. 事業の概要

（ 文の里幼稚園 ）

《教育方針》

「みんな仲よくがんばる良い子」という言葉で表わされるように、この幼児期に集団生活の中でしかできない経験を大切にしながら、子どもたちが、その心、体、知力を一緒に成長しあっているように、あたたかく育みます。

《教育内容》

毎日の保育指導を通して食事・排泄・着替など基本的な生活習慣の自立をはかります。運動会・お遊戯会などの行事に先生を中心にみんなで取り組みがなすることで、単に発表する内容が「できた」ことだけでなく、ものごとの意欲、達成感、一体感、自信など、一人ひとりのこどもにとって大切な心を育てます。

3号子ども

	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計			
	園児数	園児数	園児数				
利用定員	0	0	10	10			
元年度	0	0	12	12			
2年度	0	0	10	10			

1・2号子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	35	2	70	2	70	5	175
30年度	2	61	2	55	2	59	6	175
元年度	2	50	2	60	2	55	6	165
2年度	2	51	2	54	2	59	6	164

《保育時間》

月～金曜日 午前9時30分～午後2時30分

《公定価格》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、大阪市の定められた額

《上乗せ徴収》

入園手数料 40,000円
教育充実費 (1号) 月額 4,000円 (在園児 月額3,000円)
(2号) 月額 5,000円 (在園児 月額4,000円)
(3号) 月額 6,000円
育友会費 月額 1,000円

《実費徴収》

給食費 (1号) 1食 300円
(2号) 1食 100円

《預り保育の時間及び費用》

月～土曜日 午後7時

(土曜日、夏冬春休み中の預かり保育は午前8時～午後7時)

1日1,000円～1,200円/月額12,000円

《行事实施状況》

親子の集い、日曜参観、七夕、宿泊保育、移動動物園、運動会、みかんぶどう狩、保育参観、クリスマス、おもちつき、生活発表会、お別れ遠足、おすもうさん来園

《施設関係》

園地面積 898㎡ 運動場面積 560㎡

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

《借入金関係》

平成25年度、園舎を建築のため、三井住友銀行より24,000千円借入し、元利金を約定返済。平成31年度、消防設備、門扉・門柱フェンス改修工事のため、23,980千円借入し、元利金を約定返済。

《計画内容》

平成27年度4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、新制度移行が進み、令和2年度は192園が私学助成で事業を継続している。当園は、平成31年4月から幼保連携型認定こども園に移行し2年目の運営となる。

そのような状況下、園児数は、1号122名、2号41名、3号10名7学級173名のスタートとなる。

令和元年10月より幼児教育無償化が実施されたが、保護者が園を選ぶ判断材料として一層「教育内容の充実」にスポットが当たり、預かり保育の時間延長の希望が増えるであろうことが想定される。また、特に出生数が戦後最小の86万4千人になり、将来の園児数の獲得もより厳しいものになっていくものだろうと想定され

るため、情報収集、情勢分析は欠かさないこととする。

一方、教職員採用が極めて厳しい状況になっているので、安定した教員組織を維持することができる園が、持続可能な園であり、運営の最大のテーマになってきている。新卒の採用については、短大の減少が進み、4年制大学の養成校からの採用が中心となり、就職希望の3年生が対象となってきている。故に、一般企業と同じ土俵での採用競争となっている。また、保護者対応、増加傾向にある特別支援児への対応、クラス担任として自信が持てないと考える応募者が多く、募集をしても少数の応募となってしまっている。一方、働き方改革の流れから、日本型雇用システム（新卒一括採用、終身雇用、年功序列賃金）が崩れ、企業は、通年採用の実施と、リファラル採用（社員に知り合い・友人を紹介してもらう採用方法）を進めている。本園でもリファラル採用（採用コスト削減及び自園の風土・園の教育方針に合致する教職員の採用）について、検討・研究を進める。

事業活動収支計算書では、教育活動収支は、教育活動収入計が176,583千円、教育活動支出計が168,522千円となり教育活動収支差額8,061千円のプラスとなる。また、教育活動外収支差額が419千円のマイナス、特別収支差額が0千円となり基本金組入前当年度収支差額は7,642千円のプラスの経営状況となる。

《収支予算》

別紙